

日帰り語り部講「手話でこんにちは」開催速報 9/30 編集

9月22日（火祝）手話サークル「まゆの会」（八尾）12名及び「サークルすみれ」（大沢野）9名合計21名をお招きし「手話でこんにちは」日帰り語り部講を開催しました。この日は、晴天で、日帰り語り部講日和となりました。

この語り部講の目的は、手話に関心がある方を対象に、有峰の大自然を手話で用いて紹介する日帰り語り部講を実施し、今後有峰を訪れる方々の裾野拡大に努めるものです。

朝8時、各指導員がバスに添乗し、富山市八尾町町民広場及び富山市大沢野町行政センター出発、立山あるぺん村経由で、有峰湖展望台で途中下車し、記念撮影を行い、10時過ぎに最初の目的地バーベキュー広場に到着しました。

この場で、はじまりの会を開催、次長吉江が手話で挨拶、引続き平野指導員による本日のスケジュール説明後、日帰り語り部講「手話でこんにちは」をスタートしました。

10:00頃から、草木染め体験を行いました。草木染めの焙煎液は事前準備し作成したアカソ、キハダ、ヨモギの3種類でした。各自お好みの焙煎液で草木染を体験しました。皆さん、色が染まり始めると歓声を上げ、生き活きしています。

11:45より、参加者は、北電レストランで昼食をとりました。各自有峰スペシャルカレーなどを注文していました。12:40冷た谷までバス移動し、13:00より効き茶を行った後、湖畔までの冷た谷キャンプ場の散策を体験しました。14:00頃よりリラクゼーションタイムとなり、森林浴を兼ねたハンモックやヨガマットを体験しました。

効き茶は、クロモジ、ゲンノショウコ、ヨモギ、笹の葉の4種類でした。効き茶当てクイズを行った結果、全問正解が1名おられました。リラクゼーションの後、アンケートを記入戴きました。この時、午前中に製作した草木染のハンカチをお配りしました。皆さん、出来ばえに満足そうでした。15:40よりおわりの会を開催し、職員全員で、手話で「また会いましょうね!」とお見送りし、日帰り語り部講を終了しました。

俄仕込みの手話を行った指導員に対し、バスの中

から、「また会いましょうね!」の手話で答えて戴いたことが大変印象的で、感動しました。

ろう者の方々と触れ合い、接し、ろう者の方々は元気で、大変感情豊かな方々と感銘しました。一方、手話でのコミュニケーションの難しさも再認識しました。

日帰り語り部講「手話でこんにちは」は、森林文化村でははじめての取り組みで、不安でしたが、手話サークルの方々には喜んで戴き、無事終了できたことに安堵しています。



はじまりの会、手話で挨拶する次長吉江



草木染の説明する平野指導員



草木染を手話で説明する平野指導員



草木染を開始する参加者



草木染を体験中の参加者



草木染を体験中の参加者



乾燥中の草木染のハンカチを眺める参加者



冷タ谷キャンプ場のベンチで記念撮影



冷タ谷キャンプ場散策に出かける参加者



冷夕谷キャンプ場散策に出かける参加者



森林リラクゼーションタイムでハンモック体験



有峰湖畔散策中の参加者



おわりの会で手話で挨拶する吉江次長



森林リラクゼーションタイムでハンモック体験